

ional course and LSS vocational + homemaking course

45-4

高等學校職業課程

家庭課程の目標

1. 女子としての一般教養を高め、内涵な人格を作り堅実な家庭建設者となるための豊かな知識を培う。
2. 家庭生活の改善向上に対して責任を感じ、努力する態度を養う。
3. 将来の道の職業人として進み得る素養と実力を身につける。

被服コースの課程試案例 (定時制はこれを四ヶ年に配当する。)

科目	被服科				小計	教	理	社	保	西	語	年
	仕	全	一	家								
家庭科	5	5	5	5	38	5	5	10	9	9	9	年
家庭科	3	2	5	5	16	5	5	3	3	3	3	年
家庭科	3	2	5	5	11		5	3	3			年
家庭科	5				11	5		3	3			年

必修  
履修  
23  
2.  
3

- 一、本職の職業家庭課程では殆んど被服課程の希望者であつて、昭和二十五年にはまだ食物コース、体育コースの実施を見ていない。
- 二、選択において食物五乃至十単位を採れるように仕向けたのは、特に本職の体質、体格の改善を念願し被服コースを多く希望する農村の食生活改善に資するためこの方面の関心を深めたためである。
- 三、選択教科中手藝及び普通教科は一年より三年に至る間においてなるべく生徒の希望選択に便ならしめるようにとどこまでもよいことにした。



Reference for teachers of LSS  
Continuation of Draft curriculums of VSS vocational course and LSS-vocational

合計	小計	(小計位四七十九が中のこ) 扶 選										小計	必 修 意 義						
		科	教	道	普	標	食	仕	家	手	限								
		そ	英	語	音	四	珠	の	育	物	2	5	5	扶	芸	史	30	2	3
		他	語	記	算	算	算	2	1	1	4	10	6	2	3	2			
28	2																		
30	4																10		
27	5																		
30	7												2	5	3	2	12	2	
27	27																		
30	30																8	3	

科 限 被					小計	社 理 教		
仕	ホ	全	一			教	理	社
立	ホ	全	一			学	科	会
11	4	5	5		38	5	5	10
3	2		5		16	5		5
3	2	5			11			5
5					11			5

一、一年では必修一般家庭Aコースで、被服に関する單元を百時間履修し、仕立を百五時間必修するので、送次ではなるべく普通教科を減らすように考えたのであるが、地方の実情や生徒の将来の職業の希望や素質に応じて仕立を二乃至四単位課しても差支えはない。

一、被服教科中手藝及び普通教科は一年より三年に至る間においてなるべく生徒の希望送次便ならしめるようにご配慮もよいことにした。



(單元例)  
第一學年一般家庭コース (普通課程家庭科一般家庭も同)

単	目	源	被服	家庭経済	家族関係
一、被服生活の計画 二、平常着の製作	1. 被服生活の計画を立ててこれを実行する能力 2. 家族関係と被服の必要の決定 3. 衣料の衣類をじょうずに選ぶ能力 4. 被服を健康な生活活動の目的にとうようにしかも経済的に調整する能力 5. 個性にふさわしく又環境にかなった被服を創造し着装する能力 6. 足らず手落ちなく手入れをし、張り直し保存する能力 7. 被服に肉する進歩的な生活を求める態度 8. 家庭生活、社会生活における被服の意匠の理解 9. 消費者が被服材料の生産を左右する事の理解と責任		100時間	1. 正しい生活基準をまもり家庭経済の安定と向上をはかつて行くために必要な知識と能力 2. 経済生活を良心的に営む信念と態度 3. 経済生活を豊栄させて物価を安定にしました社会の幸福を増すことに消費者の立場から寄与する精神と実践的態度 4. 家庭管理の家庭生活におよぼす影響についての理解 5. 能率的な家庭管理の方法についての理解と能力 6. 家務を分担し協力する態度	1. 民主的な家庭生活のあり方を理解し、この理想のもとに生活しようとする態度 2. 家族の一員としての自分の役割を理解し責任をもつてそれを果たし同時に家族の人々と協力する態度 3. 美しい友誼を育てることにより社会性を養い、且つ自己の個性を發揮しようとする態度 4. 自己の個性を知り友誼や家族に対する環境としての自己の責任を認識し、又自己の人格を建設しようとする態度
15			時間教	45時間	30時間
一、家庭の収入 二、家庭の支出と予算					
9			時間教		
一、友達					
10			時間教		



考 備	名 元 單	源
<p>1. 一般家庭は、家庭人と職業人との区別を向わず。凡そ女子の天職として家を養ふ家族の幸福を希念するとともに、平和な民主主義の家庭を建設するための常識として備わなければならない教養であるから、たとえ普通課程の生徒でも必傷に準じて選択するよう指導することが望ましい。</p> <p>2. 定時刻は對勞青年子女のための教育であつて生徒に都合のよい時間を考慮して授業を受けさせる制度であつて全日制の生徒と單元内容の程度には変りがない。</p> <p>3. 一般家庭ではA・Bコースとよこの時間教の外に一週二時間のホームプロジェクトを課し、七単位与えるのである。</p>	<p>一、被服生活の計画</p> <p>二、平常着の製作</p> <p>1. ムとス長着</p> <p>2. 袖</p> <p>3. スリッパ</p> <p>4. 帯</p> <p>5. 編物、くつ下手袋</p> <p>三、自分の家族の被服の手入れ、保存。</p>	<p>7. 被服に關する進歩的な生活を求める態度</p> <p>8. 家庭生活、社会生活における被服の意義の理解</p> <p>9. 消費者が被服材料の生産を左右する事の理解と責任</p>
	<p>一、家庭の收入</p> <p>二、家庭の支出と予算</p> <p>三、上手な消費</p> <p>四、決算とその処理</p> <p>五、家務のよい処理の方法</p> <p>1. 時間と労力の管理</p> <p>2. 家務に対する責任の分担と協力</p> <p>3. 日間生活のよい処理と準備</p>	<p>6. 家務を分担し協力する態度</p>
	<p>一、友達</p> <p>二、人格</p> <p>三、家庭と家族</p>	<p>4. 自己の個性を知り友達や家族に對する環境としての自己の責任を認識し、又自己の人格を建設しようとする態度</p>
	10.	時間教
		時間教
		時間教



第二學年一般家庭Bコース（必修）

標	目	食 物	衛 生 育 児	住 居		
	<p>一、食物に対して正しい知識を持ちこ れを忠実に実行しようとする態度</p> <p>二、 現在の食生活を反省しよりよい食 生活をする能力と態度及びよりよ い食生活は生活全体をよりよ ろ基に作る手の理解</p> <p>三、 調理の理典を拠出して高い技術を 養う</p> <p>四、 家狭の食卓を豊かにし家庭生活を 一そう明るくものにしようとする 態度</p>	90時間	<p>一、健康は生活力の根元をなすものであり家 庭生活の幸福にとつて最も大切なもので あることの理解と、健康な家庭生活を管 しようとする態度とその能力</p> <p>二、 病気の予防、その適当な看護及び手当の 重要性の認識とその処置法を活用する能 力</p> <p>三、 どの家庭の乳幼児も健康に育つよう大人 も口家も保護するのが義務であることの 理解と正しく導くように努力する態度</p> <p>四、 病気は日常の予防に重きを置くべきであ ることの理解と日々の病気についてほご の性質をよく知って早く手当をする態度</p>	50時間	<p>一、 家庭生活の根柢として住居がどん に重要であるかということの認識</p> <p>二、 家庭生活の環境として住居をどんな 考えで造らなければならぬかの理 解と能力</p> <p>三、 今日の住居はいつぞう能率的にい つぞう休息に適し安全であるべきこと の理解</p> <p>四、 住まいを美しくしようとする態度</p> <p>五、 住居の改良修繕のために家族が をもち、かつそれを実行することの 出来る能力</p> <p>六、 住居一般に対する衛生知識</p> <p>七、 家具及び器具の知識とその手入れ配 置に向する認識及びその実施の能力</p> <p>八、 住居改善に対する現今の住宅問題と その運動の理解</p>	35時間

一、 私たちの食物はこれよりか	25	時間数
一、 健康な家庭生活	8	時間数
一、 よい住まい	0	時間数



仕立

学年	時間数	課目
第一学年	25	一、仕立に關する各器官の組織と將來の敎養改善及び創造に對する知識 二、合理的な被服生活をなす為に被服の正常な姿を知り、科學的にも、藝術的にも高度の衣生活を営む態度 三、被服の指先の器用とすぐれた織成器具により正確に美しく速かに似性を生かす技術
第二学年	25	
第三学年	25	

單元名	時間数
一、わたしの食物はこれぞよいか 二、家族の食事 三、調理の基本	25
一、健康な家庭生活 二、家族の日常衛生 三、家族の病氣及び事故 四、家庭看護 五、家庭に常備する看護材料及と薬品 六、乳幼児の世話 七、乳幼児のあそび病氣とその予防看護 手当	40
一、より住まい 1 住居の選定 2 間取り 二、快より住まい 1 室内の装備と家具 2 住まいの清けつ 3 住居と安全 4 庭をいかにするは 三、社会共同生活における住居の商賣	25

課目	時間数
四、病氣は日常の予防に留意を置くべきであること、の理解と何々の病氣についてはその性質をよく知つて早く手当をする態度	25
五、より住まい 六、住居一般に對する衛生知識 七、家具及び器具の知識とその手入れ配置に對する認識及びその実施の能力 八、住居改善に對する現今の住宅問題とその運動の理解	10



必

- 一 裁縫用具とその使用法
- 二 部分縫
  - 1 裾通し穴
  - 2 持ち出し戻返し
  - 3 玉ぶち
  - 4 脇ポケット
  - 5 穴かぶり
  - 6 脇明
  - 7 インサイヘルト附け方
- 三 子供服
  - 1 子供服についで
  - 2 子供服寸法計り方と各部の名称
  - 3 標準寸法
  - 4 子供服の廓形
  - 5 子供服のえり
  - 6 子供服の下着
  - 7 クレネケスリーブの応用
  - 8 子供用エプロン
  - 9 男児服
  - 10 いたづら着

39

- 一 裁縫用具の種類と用法
- 二 女子の平常着
  - 1 大裁縫衣長着
  - 2 大裁縫長着
  - 3 二部式袖説明
  - 4 袖長袖襟
  - 5 帯(名古屋帯)
- 三 男子家庭着
  - 1 大裁縫物単長着
- 四 冬の準備
  - 1 男子大裁縫初級
  - 2 女子大裁縫初級
  - 3 四身女わた入長着
- 五 乳幼児のための衣類
  - 1 一ッ身綿入長着
  - 2 ちゃんくこ
  - 3 巻小とん
  - 4 足袋

24

42

39

- 一 部分縫
  - 1 けりポケット
  - 2 切ポケット
  - 3 むちぶちポケット
  - 4 脇ポケット
  - 5 ふたポケット
  - 6 穴かぶりへむぶち
  - 7 松葉どめ
  - 8 パントの作り方
- 二 夏の外着
  - 1 縮花薄地の單衣
  - 2 單長じゆはん
  - 3 ブラウス
- 三 姉妹のために通学服
  - 1 セーラー服
  - 2 学童服
- 四 履類
  - 1 手務服
  - 2 コート
  - 3 子供神履

70

65

四 婦人服  
1 婦人服についで

4 オートバー



選	修		
<p>この試案では一年では一般家庭の被服及び必修の仕立の両方で二百時間を超える学習をすることになるので、選択はしないこととしてある</p> <p>もし旭城の実情や生徒個人の内容未の座職の都合で一年にも選択させる方が教育効果が大である</p>	<p>四 婦人服</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>婦人服のつりて</li> <li>寸法はかり方</li> <li>原型</li> <li>えりの充用</li> <li>下着</li> <li>ブラウス</li> <li>スボン</li> <li>婦人用ワンピース</li> <li>婦人用スカート</li> <li>カッターシャツ</li> <li>ワイシャツ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>子供服の原形</li> <li>子供服のえり</li> <li>子供服の下着</li> <li>クレーンケスリーブの充用</li> <li>子供用エプロン</li> <li>男児服</li> <li>いたづら着</li> </ol>	
	24	42	
<p>一 洋裁</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ブラジャー</li> <li>コルセット裁ち方</li> <li>スロース裁ち方</li> <li>ニットカース</li> <li>ジヤンパースカート</li> <li>婦人エプロン</li> <li>六つはぎ帽子説明</li> </ol>			<p>五 乳幼児のための衣類</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一ッ身綿入長着</li> <li>ちんくこ</li> <li>巻ふとん</li> <li>足袋</li> </ol>
39			24
<p>一 絹糸類長着</p> <p>二 毛織類長着</p> <p>三 ニ部式モンペ</p> <p>四 絹布厚羽織</p> <p>五 男物大裁袖長着</p> <p>六 半纏</p>		<p>五 正月を迎えて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>紋付羽織</li> <li>袴向着</li> </ol> <p>三字類</p> <p>六 卒業を前にして</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>婦人スーツ</li> <li>男子背広服</li> </ol>	<p>四 学期</p> <p>一 手務服</p> <p>二 コート</p> <p>三 子供神徳</p> <p>一 セーラー服</p> <p>二 学童服</p>
39	40		70



<p>目標 意匠学(必修) 二単位 70時</p>	<p>扱</p> <p>判断される場合には適当な單元を 選んで採せられてよい。 この案の二年の單元が多すぎる 生徒にはその前半を一年からや せてもよい。</p>	
<p>目標 被服経理(必修) 三単位 105時</p>	<p>25 スボン</p> <p>24 下着シャツ</p> <p>23 ステラコヌロパンツ</p> <p>22 ツーピース</p> <p>21 ラグランスリーブ</p> <p>20 ドルマンスリーブ</p> <p>19 フレンケスリーブ</p> <p>18 大人用背広給ジャケット</p> <p>17 子供用オーバー</p> <p>16 パジママ説明</p> <p>15 レギンス</p> <p>14 おむつかほり</p> <p>13 ベビー帽子</p> <p>12 嬰兒用スリッパ</p> <p>11 嬰兒用服着</p> <p>10 ケイプカラーコート</p> <p>9 ベビー服</p> <p>8 ベビー服原型</p>	<p>4 2</p>
<p>目標 服装史(選択) 二単位 70時</p>	<p>十 寝具座小じん</p> <p>九 礼服 二枚重ね</p> <p>八 丸帯</p> <p>七 男物袴前</p>	<p>24</p> <p>4 2</p>



<p>一 被服意匠</p> <p>1 服装回案</p> <p>2 線の種類とその性質</p> <p>3 統一の原理と服装</p> <p>4 リズムの原理</p> <p>5 フロホーシヨンの原理</p> <p>6 バランスの原理</p>	<p>単元</p>	<p>目標</p> <p>一、意匠の本質と使命の理解と被服に対する科学的知識</p> <p>二、被服意匠の原理を会得することによって私達の生活の中へ美を培つていこうとする態度</p> <p>三、流行についての正しい認識と態度を養い個性にふさわしく又環境に適った被服を創造し着装をする能力</p>	<p>70時</p>
<p>一 被服生活の設計</p> <p>1 被服の現状調査</p> <p>2 被服整理カードの作成</p> <p>3 家庭の一年間の被服計画案</p> <p>二 被服材料</p> <p>1 繊維の種類と性質</p> <p>2 織造の触別実験</p>	<p>単元</p>	<p>目標</p> <p>一、被服の使命を理解し、出来るだけ長く使用できるように最も適切な方法で被服を処理する能力</p> <p>二、合理的な被服整理を行う事によって生活全体の水準を層一層高レベルのへと向上進歩させる態度</p> <p>三、被服生活の計画を立て常に内容にゆとりのある楽しい豊かな衣生活が営まれるような技術</p>	<p>105時</p>
<p>一 衣服の文化</p> <p>1 衣服の起源</p> <p>2 文化と衣服</p> <p>二 西洋の服装史</p> <p>1 古代エジプトの服装</p> <p>2 アッシリヤの服装</p> <p>3 古バベルシマの服装</p>	<p>単元</p>	<p>目標</p> <p>一、現在の被服はどのような変遷を經てきたかの理解</p> <p>二、家庭生活、社会生活に於ける被服の意義を理解することによって現代の服装及び将来の衣生活を創造しようとする態度</p> <p>三、文化人、社会人として被服に關する進歩的な生活営む能力</p>	<p>70時</p>

- 22 ツーピース
- 23 スラテコヌロパンツ
- 24 下着シャツ
- 25 スボン

24



5 新生活面への要求

- 4 スタイルアップの考え方
- 3 流行への考慮
- 2 流行の良方
- 1 流行心理と美的概念

五 流行

- 5 自分に最も似合う服装
- 4 装飾効果と模様の価値
- 3 行動による意匠の変化
- 2 よい意匠とそのポイント
- 1 材料と意匠

四 意匠の実際

- 4 服飾と配色
- 3 色感訓練
- 2 配色の方法
- 1 配色の効果

三 配色と調和

- 4 色彩の感情
- 3 色の鑑賞
- 2 色の配列
- 1 色の感覚

二 被服と色調

10

24

16

8

六 冬の被服整理

- 0 染色法  
浸染、捺染、絞リ染、防染
- 色場法
- 染色法  
染料に対する基礎知識
- 2 染色
- 1 汚染拭

五 秋の被服整理

- 5 夏の被服手入れ
- 4 薄物の洗濯
- 3 人絹織物及スフ製品の洗濯
- 2 麻織物の洗濯
- 1 木綿物の洗濯

四 夏の被服整理

- 4 被服の保存法
- 3 絹織物の洗濯
- 2 文織物の洗濯
- 1 毛織物・絹物の洗濯

三 春の被服整理

- 3 織物組織と用い方

24

30

18

18

九 和洋混着時代の服装

- 8 江戸時代の服装
- 7 桃山時代の服装
- 6 室町時代の服装
- 5 鎌倉時代の服装
- 4 平安朝時代の服装
- 3 奈良朝時代の服装
- 2 飛鳥時代の服装
- 1 日本の原始服

三 日本 服装史

- 13 オナ九世紀の服装
- 12 フランス革命時代の服装
- 11 オナ七、八世紀の服装
- 10 オナ十六世紀の服装
- 9 ルネサンス時代の服装
- 8 中世紀後半の服装
- 7 中世紀前半の服装
- 6 コールローマン時代、アングロサクソン時代の服装
- 5 ローマの服装
- 4 エリシマの服装

四 現代の服装

- 9 和洋混着時代の服装

五 将来への衣服構成

32



目	標	単	元	分	時間数
<p>一 各種の午装の手法の理解とその配色及び利用與生の知識</p> <p>二 優美 高尚な情操と培ひ之を日常生活の中に実践化しようとする態度</p> <p>三 世の變遷に從つて変化ある服飾を創造し短時間に手際よく作り得る技術</p>	<p>一 糸レース類</p> <p>二 刺繍類</p> <p>三 カラー</p> <p>四 糸 糸 編</p> <p>五 刺針縫製編及び履物編の基礎</p> <p>六 靴下×口手袋</p> <p>七 冠 靴</p> <p>八 脚 用</p> <p>九 ハワイフラワ</p> <p>十 字 刺</p> <p>十一 刺 繍</p>	<p>一 糸レース類</p> <p>二 刺繍類</p> <p>三 カラー</p> <p>四 糸 糸 編</p> <p>五 刺針縫製編及び履物編の基礎</p> <p>六 靴下×口手袋</p> <p>七 冠 靴</p> <p>八 脚 用</p> <p>九 ハワイフラワ</p> <p>十 字 刺</p> <p>十一 刺 繍</p>	<p>一 糸レース類</p> <p>二 刺繍類</p> <p>三 カラー</p> <p>四 糸 糸 編</p> <p>五 刺針縫製編及び履物編の基礎</p> <p>六 靴下×口手袋</p> <p>七 冠 靴</p> <p>八 脚 用</p> <p>九 ハワイフラワ</p> <p>十 字 刺</p> <p>十一 刺 繍</p>	<p>一 糸レース類</p> <p>二 刺繍類</p> <p>三 カラー</p> <p>四 糸 糸 編</p> <p>五 刺針縫製編及び履物編の基礎</p> <p>六 靴下×口手袋</p> <p>七 冠 靴</p> <p>八 脚 用</p> <p>九 ハワイフラワ</p> <p>十 字 刺</p> <p>十一 刺 繍</p>	<p>39</p>
<p>一 成人するといふことの意味と立派な成人となるべく成人の生活を血えようとする態度</p> <p>二 性についての正しい理解と純潔を尊重する態度</p> <p>三 結婚の個人的社会的意義の理解と良ま社会における結婚の認識</p> <p>四 遺産と個性及び遺産の子孫に及ぼす影響の理解</p> <p>五 親としての責任の認識</p> <p>六 女子と職業 夫の職業 主婦</p>	<p>一 結婚の資格と支度</p> <p>二 親に及ぼす影響</p> <p>三 仕事に成功するには</p>	<p>一 結婚の資格と支度</p> <p>二 親に及ぼす影響</p> <p>三 仕事に成功するには</p>	<p>一 結婚の資格と支度</p> <p>二 親に及ぼす影響</p> <p>三 仕事に成功するには</p>	<p>一 結婚の資格と支度</p> <p>二 親に及ぼす影響</p> <p>三 仕事に成功するには</p>	<p>30</p> <p>20</p> <p>20</p>

手 藝 (送 扱)

家 族 関 係 (送 扱)

<p>5 新生活面への要求</p>	<p>5 自分に最も似合う服装</p> <p>五 流行</p> <p>1 流行の進歩と美的概念</p> <p>2 流行の見方</p> <p>3 流行への考慮</p> <p>4 スタイルブツクの良方</p>	<p>10</p> <p>1 羊毛整理と血香準備</p> <p>2 靴服の再生</p> <p>3 靴服衛生</p>	<p>24</p> <p>四 現代の服装</p> <p>五 将軍への衣服構成</p>
<p>六 冬の靴服整理</p> <p>1 染料に対する基礎知識</p> <p>2 染色法</p> <p>3 浸染、捺染、絞リ染、防染</p> <p>4 色揚げ法</p>	<p>3 奈良朝時代の服装</p> <p>4 平安朝時代の服装</p> <p>5 鎌倉時代の服装</p> <p>6 室町時代の服装</p> <p>7 桃山時代の服装</p> <p>8 江戸時代の服装</p> <p>9 和洋混清時代の服装</p>	<p>4</p>	<p>6</p>



食物(送扱)

一、本節々々の家族の日常食を常に栄養的に合理的に献立する為の知識理解  
 二、基本調理を応用して楽しく豊かな食膳を感える能力  
 三、燃料の使用、食品の加工貯蔵等を工夫して食物管理と経済的に行う能力  
 四、学習や研究を家庭の実生活に活かして日常の食生活設計をたのしみ目に新たな食生活の改善に努めようとする態度

第	二	学	年	175 時間
第	三	学	年	175 時間

1 文化刺繍	2 フランス刺繍	3 ミシン刺繍	4 日本刺繍	5 八形	1 フランス人形	2 日本人形	三 字期	六 袋物	1 櫛入	2 札入	3 ハンドバッグ	
						42	24					
婦と家族についての認識 家庭と社会との関係 女子と社会的活動についての理解												

食物 I (二年)	15	15	8
春の日常食			
春の茶膳料理			
農繁期の食事			
食物 II (三年)	10	10	0
わか家の食物賞			
食品の上手な買入			
計画ある家庭主産			



名		元		單		課目	
食物Ⅰ(二年)	香の日常食	15		香の日常食	15	一、季節々の家族の日常食を常に栄養的に合理的に献立する為の知識理解	二、基本調理を応用して楽しく豊かな食膳を懸える能力 三、燃料の使用、食品の加工貯蔵等を工夫して食物管理を経済的に行う能力 四、学習や研究を家庭の実生活に活かして日常の食生活設計をたのしみ目に新たな食生活の改善に努めようとする態度
	春の客膳料理	15		春の客膳料理	15		
	東祭期の食事	8		東祭期の食事	8		
	子供の日の料理	7		子供の日の料理	7		
	夏の日常食の準備	10		夏の日常食の準備	10		
	夏の精進料理	10		夏の精進料理	10		
	秋の日常食	10		秋の日常食	10		
	先生と生徒の会食	10		先生と生徒の会食	10		
	秋祭の料理	15		秋祭の料理	15		
	ピクニックのお弁当	10		ピクニックのお弁当	10		
	家庭の燃料	15		家庭の燃料	15		
	冬の日常食	10		冬の日常食	10		
	成人の日を祝う料理	8		成人の日を祝う料理	8		
	迎春の料理	10		迎春の料理	10		
	冬の客膳料理	7		冬の客膳料理	7		
	ひな祭りの料理	5		ひな祭りの料理	5		
	不意の客を迎えて	5		不意の客を迎えて	5		
食物Ⅱ(三年)	わか家の食物賞	10		わか家の食物賞	10		
	食品の上手な買入	10		食品の上手な買入	10		
	計画ある家庭生産	10		計画ある家庭生産	10		
	食品の加工	10		食品の加工	10		
	旅行のお弁当	5		旅行のお弁当	5		
	初夏の日常食	15		初夏の日常食	15		
	夏の食生活の準備	5		夏の食生活の準備	5		
	夏の飲物	10		夏の飲物	10		
	夏の即席調理	5		夏の即席調理	5		
	調理と能率増進	15		調理と能率増進	15		
	秋分の料理	5		秋分の料理	5		
	秋の日常食	10		秋の日常食	10		
	製菓託児所の計画	10		製菓託児所の計画	10		
	クリスマス会の料理	10		クリスマス会の料理	10		
	正月料理	5		正月料理	5		
	友を招いて	10		友を招いて	10		
	祖父母の長壽を祝って	7		祖父母の長壽を祝って	7		
	クラス会の茶話会	8		クラス会の茶話会	8		
	母を招いて	8		母を招いて	8		
	自由献立	7		自由献立	7		



備考

中学校から普通課程に進んで家庭科の教科を最大限にとろうと思う場合は次のような選択をすることができよう。

科目	学年	必修					選択					小計		
		保健	社会	理科	家庭	生活	家庭	家庭	家庭	家庭	家庭			
他														
科	14													
7	40	2	2	2~4	5~10	5~10	(4)	10	38	5	5	10	9	9
(2)	5							(2)	5	21	5	5	3	3
(2)	19	2		2	5	5	(2)	5	11			5	3	3
6~8	16	2	2	2	5	5			6				3	3

計	台	小計
		7
28-30		24
30		0
27-30		3-5



單	元	時間	理	解	態	度	実	技
---	---	----	---	---	---	---	---	---

- 目標 被服
- 1 被服生活の計画を立て、これを実行する能力
  - 2 衣料や衣類をじよらすに選ぶ能力
  - 3 被服を保健や生活活動にさうようにし、かつ経済的に調整する能力
  - 4 旧性に小ざわしく又環境にかなった被服を創造し着替する能力
  - 5 怠らず、手荒れなく手入れをし、誤りなく保存する能力
  - 6 被服に關する進歩的な生活を求める態度
  - 7 家庭生活、社会生活における被服の意義の理解
  - 8 消費者が被服材料の主産を左右することの理解と責任

一般家庭 A コース

計	台	小計
		7
28-30		2-4
30		0
29-30		3-5

他	家小 庭計	扱			
		保	家	家	食
科	14	育	徒	器	物
7	40	2	2	2-4	5-10
	(2)	5			
	(2)	19	2	2	5
6-8	16	2	2	2	5



一 被服生活の計画

10

- |                                     |                                     |                              |                                |                             |                               |
|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 被服生活には、計画が必要であらうことの理解            | 2. 感じのよい容姿の必要の理解とどんなことが必要条件であらうかの認識 | 3. 女子学生に必要な被服の種類とその数についてこの認識 | 4. 被服材料の時価を知る                  | 5. 被服材料にはどんな種類があるかの認識       | 5. 織物の組織についての理解               |
| 1. 学生としての自分の被服生活計画を立ててこれを実行しようとする態度 | 2. つねに女子学生らしく容姿をととのえる態度             | 3. 自分達にはどんな被服が適するかを判断する能力    | 4. 各自の被服の過不足を決定して、被服計画の基礎とする態度 | 5. 被服の修繕、更生、新調を計画的にしようとする態度 | 8. 織物の種類によってどんな使い方をするかを判断する能力 |
| 1. 快い容姿の評価の尺度をつくる能力                 | 2. 自分の容姿をその尺度に合わせて実行する能力            | 3. 歩み方の実習                    | 4. 自分の被服計画を立てる能力               | 5. 女子学生にふさわしいデザインの研究        | 11. 織物組織の実験                   |
|                                     |                                     |                              | 6. 修繕、更生についての技能                | 7. 我国及び世界の被服資源の調査研究         |                               |
|                                     |                                     |                              | 8. 被服の価格に影響を与える要素について調査研究      | 9. 地域社会に於ける被服材料及その価値調の研究    |                               |
|                                     |                                     |                              |                                | 10. 織物繊維鑑別の能力               |                               |



二 平常着の製作

80

- |   |                             |   |  |    |                                 |
|---|-----------------------------|---|--|----|---------------------------------|
| 5 | 織物の組織についての理解                | 8 | 織物の種類についてどんな<br>使い方をするかを判断する<br>能力           | 11 | 織物組織の実験                         |
| 5 | 破服材料にはどんな種類か<br>あるかの認識      | 6 | 更生・修繕により物を生か<br>す態度                          | 8  | 破服の価格に影響を与える要素<br>について調査研究      |
| 1 | 自分にはどんな色やデザイ<br>ンかあるかの理解    | 7 | 新調について家族経済、家<br>族関係および国家経済から<br>考慮する態度       | 9  | 地域社会に於ける破服材料及そ<br>の価値調の研究       |
| 2 | 破服着用の習慣・技法につ<br>いての理解       | 7 | 新調について家族経済、家<br>族関係および国家経済から<br>考慮する態度       | 10 | 織物繊維鑑別の能力                       |
| 3 | 流行についての正しい認識                | 6 | 織物の種類についてどんな<br>使い方をするかを判断する<br>能力           | 1  | 色やデザイン等を自己判定 相<br>互批判の能力        |
| 4 | 破服を涼しく着る方法の理<br>解           | 5 | 流行に対して無批判な着衣<br>は避ける態度                       | 2  | 慣習作法について研究実習                    |
| 5 | 私どもの平常着に小ざわし<br>いデザインについて認識 | 3 | 和服を改良工夫する態度                                  | 3  | スタイルブックにより流行をく<br>らべる能力         |
| 6 | 家族の平常着としての長着<br>の形 性能の理解    | 4 | 袴の改善くふうの態度                                   | 4  | スカート、ブラウスマタは、ワ<br>ンピース、ドレスの調製技能 |
| 7 | 袴の履きと変態について理<br>解           | 5 | 和服と洋服の活動能率との<br>他について比較研究し改良<br>発展につとめる態度と能力 | 5  | ひと之长着または、あわせの調<br>製技能           |
|   |                             | 6 | 縮み物によるくふう下又は千<br>袋の形の考察と傷み易い箇<br>所をくふうする能力   | 6  | 下着調整の技能                         |



三、 自分や家族の被服の手入れ条件	
10	
8. 保健上、整容上、活動上下着にはどんな条件が望ましいかの認識	1 日常着を手入れましくし、長もちさせる方法についての認識
2 被服の保存法についての知識	1 科学的、能率的にせんたくしめける能力
2 科学的しめい方をすすめる能力	1 水、せんたく剤、用具に肉する調査
5 虫干しおよび防虫法の技能	2 せんたくしめけ実習
	3 容器と保存の場所の調査研究
	4 しめい方のくふう
	7 かつ下または手袋の調整能力



